

日本ではじめて

地域の家族会を築いた男

～東京・荒川区で精神障がい者とともに～

2016年3月初版刊行！

「地域の家族会を築いた男—
村田新平さんのことである。

本書で提起された課題は専門家だけでなく、現代を生きていく人々の課題にも通じている。本書から差別のない社会の実現、地域におけるコミュニティの大切さをつかみ取られることと確信する。」

(「はじめに」より)



1冊 1000円(税込)

地域支援
の創世記

地域でともに歩む精神障がい当事者、家族、支援者、ボランティアの方々へ！

編著者紹介

村田さんは自宅を開放して「憩いの家」と称して、スペースを作られました。そこで体操、ゲーム、書道、土日のレクリエーションは公園、遊園地への外出、ゴミ拾いなんかいろんなことに取り組まれていました。(本文より)

目次紹介

- ・聞き書き 村田新平の前半生
- ・荒川区の精神障がい者をめぐる歴史
- ・座談会 精神障がい者家族会の生みの親が現在に向いかけるもの
- ・座談会 地域の支えあい
ほか全174ページ



村田新平

大正13年新潟県の山村で生まれ、小学校卒業後東京に出て丁稚奉公で働く。昭和43年、荒川区精神障がい者家族会「めぐみ会」を立ち上げ、昭和56年自宅でデイケア活動を始め。当時より医師も専門職も家族も一緒に精神障がい者を地域で支援する活動を積極的に展開する。平成25年3月18日永眠。



小峯和茂

1937年東京生まれ
精神科医師
1963年慶応大学神経科教室に入局
小峰研究所所長
荒川区保健所、北児童相談所で嘱託医として活動

